

ほくピーたより

2022.07.01 号

北部病院 情報誌・第11号

北部病院キャラクター
「ほくピー」

発行・文責：渡邊 理香



おかげさまで開院 43 周年を迎えました！

6月4日は北部病院の開院記念日です。

昭和54年の開院以来、今年で満43周年を迎えることになりました。ひとえに患者様方や患者様のご家族、地域の皆様方のおかげです。心より御礼申し上げます。

これからも患者様、地域の皆様に「北部病院があってよかった。あるから安心。」と言っていただけるような病院作りを目指して引き続きスタッフ一同精進いたします。

毎年恒例の永年表彰式は、今年は20年勤続1名、5年勤続1名の計2名が表彰されました。

長年北部病院の職員として勤務に励み、病院を支えてくれているスタッフに心より感謝いたします。

また開院記念日にあたり、かかりつけの患者さまに感謝の気持ちを込めて、6月4日に受診していただいた外来患者さまに「北部病院オリジナル ほくピー 竹製歯ブラシ」を謹呈いたしました。

北部病院キャラクターの「ほくピー」のイラストが刻印されているオリジナル歯ブラシで、環境にやさしい竹製です。



増改築工事でご迷惑をおかけしております

本年4月中旬にスタートした増改築工事は順調に進んでおります。

5月には土の搬出作業、杭打ち工事が始まりました。打ち込まれる杭の数は9本。増築される建物をしっかりと支えます。

心配された騒音ですが、今のところさほど大きくなく、患者さまからの苦情もなくホッとしています。年内には増築部分が完成予定です。年明け後、各部署が増築部分への仮移動を開始し、既存施設の改修に取り掛かります。

トータルで約**2年がかりの工事**となる予定です。

工事中は大変ご迷惑をおかけいたしますが、北部病院がどのように生まれ変わるかご期待ください。ご協力よろしく願いいたします。

入院患者さまへの面会が再開されました

当院では新型コロナウイルス感染予防のため、面会方法を感染状況のレベルごとに定めており、感染リスクレベルにより面会基準が異なります。

レベル3以下の場合には制限付きの面会が可能ですが、以下の条件を必ずよくご確認の上ご来院をお願いいたします。

- 面会時間 平日14:00～16:00（土日祝日は面会できません）
- 新型コロナワクチンを3回接種された方のみ
- 面会時には必ず**毎回新型コロナワクチン接種済証**または**接種証明アプリの提示**をお願いいたします（証明証の写真でも可）
- 1回の面会にご家族2人まで、10分間まで
- お子様(中学生以下)は面会できません

接種証明アプリ コチラからダウンロードできます



iOS



Android

患者さまをお守りするため、感染拡大予防のため、どうぞよろしくお願い申し上げます。



医療法人社団 原武会
北部病院

〒861-5515
熊本市北区四方寄町 1281-3
TEL 096-245-1115
FAX 096-245-1126

歩行障害外来について

このような症状でお困りではありませんか？

- 最近うまく歩けなくなった
- 歩行時に転倒しやすくなった

その他「歩行」についてお困りの方はお気軽にご相談ください。

完全予約制（水曜日・木曜日午後）になりますので、予約希望の方はお電話にてお問い合わせください。



毎月患者さまへのアンケート回答を実施しております

当院では毎月患者様にいただいたアンケートへの回答を実施しております。

いただいたご意見を会議で検討し、よりよい接遇やサービスの改善に役立たせていただきます。回答はロビーに掲示しております。



←こちらから見ることもできます。

第3回「ほくピーカフェ」開催

6月18日、「第3回 ほくピーカフェ」(難病患者家族の会)を開催いたしました。

今回は10名の患者さまやご家族にご参加いただきました。

「みなさんの声はどのくらい大きいですか」をテーマにした言語聴覚士のミニレクチャーや、理学療法士による「座って簡単体操」も盛り上がりました。恒例の「おしゃべり会」では患者さまの自宅での様子をお聞きし、参加スタッフも楽しい時間を過ごすことができました。

同じ病気の当事者の方やご家族の助言や経験談がいかに患者さまご本人の心に響くかを再認識でき、大変有意義な会でした。

次回の開催予定はまたホームページやSNSなどでお知らせいたします。



多職種連携における「医療介護用 SNS」活用

当院では難病や持病と長くおつきあいされている患者さまのために「**多職種連携**」での取り組みを行っています。「多職種」とは、医師、歯科医師、看護師、リハビリ療法士、相談員、ケアマネージャー、介護職、訪問系サービスを行う職種、施設スタッフ、受付事務スタッフなどのことです。

これらの人々が協働して、患者さまやご家族のために一番良い方法を話し合い、取り組んでいく事が医療介護における「多職種連携」といいます。

定期的に会議を行うことはもちろんですが、急な出来事で困ることもあります。

その場合大変便利なツールが「**医療介護用 SNS**」です。当院では数年前より活用を始めました。担当の医療介護職だけでなく、患者さまのご家族にもグループに登録いただいています。グループを作ることで、限られたメンバーが患者さまの現在の状態の共有し、それぞれの対応の報告、また生活上や療養上での困りごと、相談などにも幅広く対処できるようにしています。

ご家族からも「時間を気にせず気軽に相談できるようになった」、「現在の状態や状況がよく分かる」と大変ご好評いただいております。

当院では病院内のスタッフ全体連絡や、入院患者さまについての多職種連携、部署ごとの連絡にも活用しております。コロナ禍で密を避けなければいけない今、各部署で大変助けられています。もし当院におかかりの患者さまやご家族で、「専用のページを作ってほしい」と希望される場合は、お気軽にご相談ください。

